

水辺の野鳥

～バードウォッチング入門～

秋から冬にかけての水辺は、野鳥観察にもってこいの場所です。

シベリアなどから冬鳥としてカモの仲間が渡ってきます。

大田区には水辺のある公園が多く、周辺に散策路があり、

双眼鏡などの道具がなくてもゆっくり野鳥観察ができます。

洗足池や宝来公園は駅から近いのでまずは足を運んでみてください。

いろいろな種類の野鳥を探すだけでなく、野鳥のしぐさも観察してみると意外とおもしろいものです。

これなら初めての人でもすぐに始められます。さらに上級を目指す人は、

双眼鏡を持って多摩川河川敷に行ってみてください。

いろいろなカモやカモメのほか、アオサギやセイタカシギ、上空を旋回するトビなども見られます。



トビ
タカ科

カラスより大きく、濃い褐色。上空を「ピーヒョロロ」と鳴きながらよく旋回しています。



コサギ
サギ科

くちばしが黒く足の指が黄色の白いサギ。



ハクセキレイ
セキレイ科

白いほおに過眼線。長い尾を上下に振りながら歩きます。



カワセミ
カワセミ科

青い背にオレンジ色の腹。公園の池で見られます。



バン
クイナ科

顔が赤く、くちばしの先が黄色。



ウミネコ
カモメ科

黄色い足。黄色いくちばしの先には赤と黒の模様が目立ちます。



アオサギ
サギ科

背が灰色の最も大きなサギ。



ツグミ
ヒタキ科

胸にまだら模様。河川敷の芝生を小走りして立ち止まる様子がよく見られます。



ユリカモメ
カモメ科

くちばしと足が赤い。東京都の鳥。



カワウ
ウ科

体は黒く、首、尾が長い。水際で休むときに翼を広げることがあります。



イソシギ
シギ科

腹の白が肩先に切れ込んで見えます。1年中見られます。



セイタカシギ
セイトカシギ科

足が極端に長くピンク色。多摩川河口では、冬に群れて見ることができます。



オオバン
クイナ科

全身黒く、くちばしと顔が白い。

野鳥観察のポイント

街中の公園では、双眼鏡がなくても大丈夫。ちょっと散歩のつもりで気軽に行ってみてください。

野鳥の顔やくちばし、足の色など細かい特徴をメモしておく、あとで図鑑で調べられます。

多摩川での観察では、防寒対策をしっかりと、歩きやすい靴を履き、暖かい飲み物を忘れずに持って行ってください。

かんさつしてみよう/ カモの仲間 の見わけかた

秋から冬の多摩川では、多摩川や呑川のほかに、池や水辺のある公園でよく見られます。カモはわかるけれどちょっと種類までは、という人は目立つオスに注目して、顔やくちばし、足をじっくり観察して、そのちがいをみてください。

一般にオスは色鮮やかでメスはどれも地味な色をしています



マガモ
カモ科

くちばし全体が黄色。足はオレンジ色。マガモを改良したものがアヒル。



カルガモ
カモ科

くちばしの先だけ黄色。足はオレンジ色。1年中見られます。



キンクロハジロ
カモ科

黒白のツートンカラー。頭には冠羽があり、黄色い目。水によく潜ります。



オナガガモ
カモ科

白い胸と白い首が目立つ。オスの尾は長い。



ヒドリガモ
カモ科

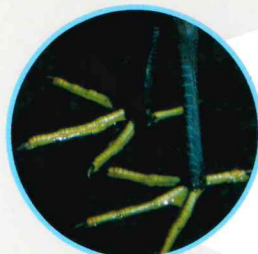
茶色の頭に黄色い顔。「ビュー」と笛を吹くように鳴きます。



コガモ
カモ科

茶色の頭に緑の帯。おしりの横に黄色い三角模様があります。

くらべてみよう/ 水鳥の足 いろいろ



コサギ サギ科

浅い水辺で、小魚やザリガニなどを捕ります。足の指には水かきはありません。



オナガガモ カモ科

3本の指と指の間に2枚の水かきがあります。



バン クイナ科

水面を泳ぎますが水かきはありません。泥地を歩きやすいように指が比較的長い。



カワウ ウ科

4本の指の間に3枚の水かきがあり、水中で魚を追いかけます。



オオバン クイナ科

それぞれの指のまわりを囲むように水かきがあります。



ユリカモメ カモメ科

赤い足の色は、くちばしと同じ色。指の間に2枚の水かきがあります。



ウミネコ カモメ科

黄色い足。指の間に2枚の水かきがあります。